

広報

7の12

2007
No. 647

なかよく朝ごはん。

■オシドリシーズン真っ最中

日野川に今年も多くのオシドリが飛来しています。オシドリ観察小屋（根雨）からは、オシドリのほか、マガモやサギなどの野鳥の愛らしい姿が観察できます。



迫力ある踊りを披露した、日野中学校生徒による「ソーラン節」

生涯学習の成果を発表 今後のまちづくりに生かす

平成 19 年度町生涯学習まちづくり大会

日ごろからの生涯学習を通して、これからのまちづくりを考える、日野町生涯学習まちづくり大会（町主催）が、12月9日、町文化センターで開かれました。

町民による取り組みの発表と子どもの心を育てる講演会の2本立て

「21世紀のまちづくりを考える」生涯学習とまちづくり」をテーマに開かれた大会には、約150人の町民らに参加、町内の個人・団体による実践発表と、記念講演が行われました。

実践発表「日野町で
生きる私の実践」

実践発表では、町内の学校や各種団体など7組の発表者が、日ごろ行っている活動や、その成果などについて発表しました。

「少年の主張作文コンクール」で佳作を受賞した日野中学校3年の山本美佳さんは、受賞作「画面で見た現実」を発表。世界中の貧しい子供た



根雨小学校金管バンド

ちの現状を偶然テレビで見たことをきっかけに、自分の恵

まれた生活に感謝しなければいけないこと、また、世界中の人が他人を思いやることでこの現状が変えられるということを訴えました。

木のおもちやづくり活動について発表した田口郁江さん（舟場）は、20年間続いている活動を通して、「木のおもちやづくりで子どもたちの感性が育ちます。これからも作り、遊ぶ喜びを子どもたちと分かち合いたい」と話しました。

そのほか、ひのっこ保育所の音田真理子さん（野田）が、



田口郁江さん



山本美佳さん



黒坂小学校の皆さん

今年参加した全国解放保育研究集会について、森田勝彦さん（根雨）は、総合型地域スポーツクラブD.O.スポーツの活動についてそれぞれ発表しました。

日野高校との農業体験を通じた交流事業について発表した黒坂小学校1・2年生は、客席に向かって大きな声で元気に発表し、参加者から拍手を送られていました。

また、根雨小学校児童による金管バンドは「ロッキーマー」などを演奏しました。実践発表の最後を飾ったのは、日野中学校生徒によるソーラン節。現代風に編曲されたソーラン節と伝統の宝仏太鼓との合作で、力強い音楽と迫力ある踊りに、客席も大いに沸きました。

知識よりも体験が子どもを育てる

記念講演『テレビ・ビデオ・インターネット・ゲームが子どもの心に及ぼす影響』

今回の記念講演では、川崎医科大学小児科教授の片岡直樹さんを講師に迎え、テレビ・ビデオなどのメディアによる子育てへの弊害についての講演が行われました。

子どもたちの脳をむしばむ『ゲーム脳』

30年以上前からテレビなどが子どもに与える影響を研究してきた片岡さんは、「テレビとともに育った世代が親になり、赤ちゃんのときからテレビがつきっぱなしの状態です。子どもも珍しくありません」と話し、また、「テレビやテレビゲームなどに熱中する

と脳をコントロールする部分

が働かなくなり、また一種の中毒症状になりゲームがやめられなくなる」、いわゆる『ゲーム脳』の恐ろしさについても話しました。

デジタルよりアナログの子育てを

さらに片岡さんは、医師としての経験から、赤ちゃんの

時にテレビ漬けの生活をしていないことではやべらない。笑わない。遊ばない子どもに育ってしまった子どもたちの症例を、実際の映像を見ながら解説しました。

その中で片岡さんは、「片目でも両目でも同じように見えるテレビばかり見ているは遠近感・距離感が育ちません。知識だけを詰め込むのではなく、自分自身が豊富な体験をすることで子どもは育ちます。デジタル育児よりアナログ育児を心がけてほしい」と話しました。

最後に片岡さんは、「私たち大人の脳は、テレビを見ても必要な情報だけを頭に入れるよう育っています。赤ちゃんは違います。テレビや電子機器の音は赤ちゃんの頭を占拠し、それ以外は耳に入らなくなってきます。それが人間の心がどう育つかの基本になります。そのことに大人が気付くべきです」と訴えかけ、参加者らはその実態に驚きながらも感心しながら聞き入り、認識を新たにしました。



片岡直樹さん(川崎医科大学教授)
昭和17年生まれ。
主な著書に『テレビ・ビデオが子どもの心を破壊している!』など。

町行政に大きく貢献 4組に表彰状

第38回 町表彰



左から、遠藤真由美さん、西村君江さん、谷口優佳子さん

今年度、まちの発展に大きく貢献された皆さんを表彰する、第38回町表彰式を、11月19日、役場庁舎で開きました。

今回受賞されたのは、日野中学校3年の谷口優佳子さん（黒坂）、本郷の松本勝美さん、下榎の西村槐さん・君江さん夫妻、別所の遠藤真由美さん・弘之さん夫妻の4組6人の皆さん。表彰式では、景山町長から表彰状と記念品が贈られました。

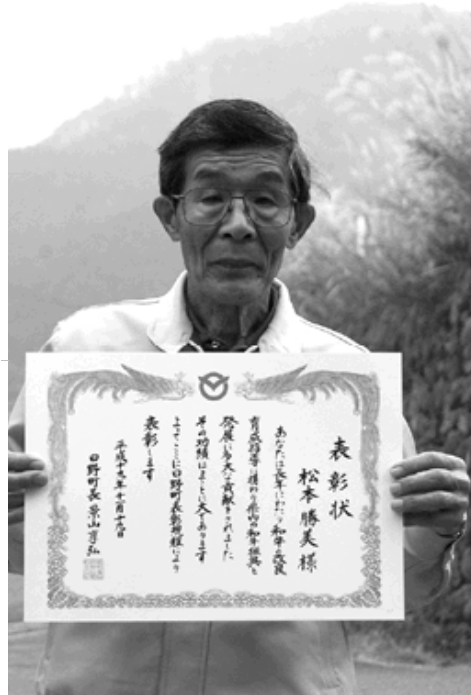
谷口さんは、今年3月に行われた都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会の女子団体戦で県代表として第3位に入賞し、まちのスポーツの普及・発展に寄与したことが認められました。

【受賞のことは】小学生のときからソフトテニスを始めました。今回の受賞はとて素晴らしいです。これから受験

シーズンになりますが、勉強もテニスも頑張りたいです。

松本さんは、本町だけでなく県の和牛振興に尽力され、その結果として、10月の全国和牛能力共進会で本町からの出品牛が優秀な成績をおさめるなど、長年にわたる和牛改良への貢献が認められました。

【受賞のことは】今回の受賞は、仲間の代表としていただいたという気持ちです。苦しい時期もありましたが、共進会の結果をばねにしてまちの和牛振興に取り組みたいです。



松本勝美さん

西村さん、遠藤さん夫妻はともにも10月の全国和牛能力共進会において出品牛が優秀な成績をおさめたことが認められたものです。

【受賞のことは】（西村さん）受賞はとてうれしいです。これからも夫婦支えあって和牛振興を頑張りたいです。（遠藤さん）今まで和牛を飼っていた甲斐があったと思っています。これから家族が一つになって、しば系の和牛を飼っていききたいです。

あげ・こげ・じげじまん

第2回 三谷地区に伝わるもの・こと



郷土の歴史を研究している田淵さん

まちの北東部に位置する三谷地区。小さな集落ですが、言い伝え・伝説も多く、古くは松江藩との関わりもあつたようです。そんなお話を田淵武夫さん（三谷）に聞きました。

三谷地区と「三谷権太夫」について教えてください。三谷には上・中・下の3つの谷があり、それが地名の由来といわれていますが、もう一つ、三谷権太夫という人物が由来であるという説もあります。

三谷地区と「三谷権太夫」について教えてください。三谷には上・中・下の3つの谷があり、それが地名の由来といわれていますが、もう一つ、三谷権太夫という人物が由来であるという説もあります。

説は事実だったのではないかと考えています。権太夫の子孫は現在松江に住んでおられるようです。松江市内には三谷山という山もあり、関わりが大きさを物語っています。

古い言い伝えなどはありますか

子どものころ、明治6年生まれの祖母からいろいろ聞いていました。

祖母が若いころ聞いた話によると、当時、宝仏山の下谷に三谷地区の人が草刈りに行ったとき、山の斜面をころころと転がりながら降りてくる動物がいたそうです。その動物は頭が大きく急に胸が細くなっているビールびんのような形で、「ヤマシバ」と呼ばれていたとか。私は、これが以前話題になった「ツチノコ」なのではないかと考えます。また、その体型から、小さな話を大きく話すほら吹きのことを「ヤマシバのような人だ」と言っていたそうです。面白い話ですね。

「へいはぎ」という行事が今も続いているとか

毎年11月末ごろに地区住民が寄り合って「へいはぎ祭り」を今も続けています。

これは、三谷に祀（まつ）られている荒神さんや秋葉さん（火の神様）などの神様に御幣（ごひき）をお供えするものです。当日は、当番の家に集まり、皆で竹製の小さな御幣を100本以上作った後、神事を行います。

その後、地区のあちこちにある神様のところに御幣を供えます。三谷権太夫さんの祠には五色の御幣を一本供えるな

らわしになっています。

三谷に住んで良かったことは

土地が狭く、田畑からも遠かったこの地になぜ昔の人が住み着いたのかを考えると、まず水が良いこと。次に地盤が固いことがあつたのではないでしょうが。鳥取県西部地震でも三谷では大きな被害はありませんでした。

三谷は坂が多いので、お年寄りも足腰が丈夫で元気な人が多いですよ。これも自慢の一つですね。



地区の伝統行事「へいはぎ祭り」

「じげじまん」を聞かせてください... 町教育委員会では、地域に伝わる伝承や風習、史跡、昔話、田植え唄などを話していただける人を募集しています。詳しくは町文化センター（電話 72 1300）までお問合せください。

3つのテーマに分かれ協議

第6回日野町まちづくり町民会議



町民会議は今年1月に結成。現在22人の委員で定期的に会議を開催

これからのまちのあり方やまちづくりなどについて話し合う、第6回日野町まちづくり町民会議が、11月29日に町役場で開かれました。今回は、まちの課題などをテーマごとの3つの班に分かれて話し合うグループ協議が行われました。そこで討議された意見の一部を紹介します。

会議では、はじめに松本豊文会長があいさつ、「この会も発足して1年が経とうとしています。まちの現状もわかってきたし、会議での意見も町政に生かされつつあります。しかしまちの課題は山積み。前回出た意見をもう一度話し合いたいと思います」と話し、その後3つのグループ単位での話し合いが行われました。

まちづくりの方向性を探りたい（A班の討議内容）
A班の討議テーマはまちづくり・高齢化問題などについて。今回は、4人の委員が出席し、話し合いを進めました。

A班の主な意見
本当のボランティア活動とは何か。ボランティアが金儲けになってはいけないと思う。お金をもたらすボランティアしている人もあるし、そ



少人数でざっくばらんに意見交換

でない人もいる。高齢化が進むと旅費・交通費は出さずなど、そういうものの考え方をしたいかなと励みにならないと思う。

ボランティアに「こうあるべき」という論は言えないのでは。何かがもらえる、はずんで参加してもらえないこともある。

これからのまちづくりについて、今後は箱物とかではなく、町民みんな話し合っ



日ごろ気付いたことを出し合っ

環境意識の高まりを（B班の討議内容）
B班のテーマは福祉・環境について。話し合いました。

B班の主な意見
ぽかぽか教室について。皆で集まれば笑いも出るし、運動も続けられる。自分の地域では、週一回はやるうと話をしてる。しかしなかなか家から出てこない人が多い。
私の地域では老人会ではぽかぽか教室を行っているが、老人会に入っている人とそうでない人がいるので、全員ではない。
ごみの分別についてまわりの人と話してみると、分けるのが面倒との意見がある。チラシ、新聞がまとめて入っ

まちづくりの方向性を出すことが必要である。
リーダー（町長）が方向性を示すべきである。方向性になるが、それが見えず分散したままでは小さな力にしかない。
ビジョンが見えないのはわかるが、皆が自分たちでできることをどうするのか。それを出していかないと元氣にならない。

一人一人が自分でできることをしていくにはどうするか。その仕組み・手法を考えていきたい。
次回の会議では、こういう課題について考えようというテーマを出し、一人の意見でなく地域の意見も集約して出るようにしたい。
町の若手職員からの意見も聞いてみたい。

ていたりもする。
古紙などのリサイクルをきちんとしなければ、ごみを減らせば財政が助かることをもつとPRする必要がある。委員はわかっているがなかなか広く周知できない。
マイバッグを持つて買い物をする人が増えているようだ。

小・中学生のころから意識を変えていく必要があるのでは。昔に比べて一般家庭からのごみが増えていると思う。
島根ではノーマイカーデーに取り組んでいる。環境に対する意識付けが早い。
日野町ではアイドリングストップくらい。割り箸を使わず、持参したマイ箸を使うくらいしか今はできないかも。



健康づくり・介護予防に「ぽかぽか教室」

農業の後継者育成に取り組みたい（C班の討議内容）
C班のテーマは、まちの産業・観光振興などについて。今回は6人の委員が話し合いました。

C班の主な意見
まちの農業の将来について、3、4年先はもうわからない状況。農地を守るための中山間地域等直接支払制度もばらまき制度で疑問に思う。それよりも米を食べる・売るPRをしてほしい。

それでも直接支払制度があるので、農地管理をしようという気になる。農業に対する現在の制度は大規模経営のと

ころには補助があるが、日野町では該当するところはほとんどない。それならば直接支払制度のほうがいい。これが終われば農業をやめる人が増えると思う。
米が余るから減反しろといわれる。米を消費する方法を考えなければ。
付加価値のついた米は高く売れる。

退職者などを募って農業をしてみたい。そういうグループを作って冬は炭焼きなどを楽しんでみたらどうか。
専業農家の人と、土日ならできるといふ人たちがグループを作って、農地荒廃を防ぐためにも農業に取り組んでみては。今すぐでなくてもいい。農業委員を通じて、休耕田の数ややりたい人をリストアップしてもらいたい。

次回は1月末に開催予定（まとめ）
グループ討議の後には全員が集まったの全体会があり、各班で話し合った内容を出し合い、まちの課題を共通認識しました。

次回の会議は、1月24日に開かれる予定です。



「売れる米づくり」への取り組みを

所得税から住宅ローン控除額を引ききれなかった人は申告が必要です

(申告期限：平成20年3月17日までに、平成20年1月1日現在お住まいの市区町村へ)

平成19年分の所得税から控除しきれなかった分は
平成20年度の住民税(町・県民税所得割)から控除されます

税源移譲により所得税が減額となり、控除できる住宅ローン控除額が減る場合があります。
平成18年末までに入居し、所得税の住宅ローン控除を受けている方で、所得税から控除しきれなかった額がある場合は、翌年度の住民税(所得割)から控除できますので、忘れずに申告してください。

- Q** どういう場合に住民税の住宅ローン控除の対象になるの？ → **A** 給与所得者については、平成19年分の給与所得の源泉徴収票摘要欄に「住宅借入金等特別控除可能額」が記載され、この金額が源泉徴収票の「住宅借入金等特別控除の額」より大きい場合に、住民税の住宅ローン控除の対象になります。
- Q** 住民税の住宅ローン控除の申告書の提出方法は？ → **A** 所得税の確定申告をしない人
源泉徴収票を添付して市町村へ提出
所得税の確定申告をする人
所得税の確定申告書とともに税務署へ提出
申告書の用紙は役場住民課・役場黒坂支所にあります。
- Q** 今回だけ申告書を提出すればいいの？ → **A** 平成20年以降、住民税の住宅ローン控除の適用を受けるためには、毎年申告が必要となりますのでご注意ください。

平成19年以降に入居した場合は、新しい住宅ローン控除制度の特例が設けられましたので、直接税務署にお問合せください。

問合せ 役場住民課 担当 音田守(電話 72 0333)

平成20年4月から

特定健診・特定保健指導が始まります

医療構造改革における医療保険者の役割分担として、高齢者の医療の確保に関する法律により、平成20年4月から、医療保険者に対し、40〜74歳の加入者を対象とする、メタボリックシンドローム(内臓脂肪型肥満)に着目した生活習慣病予防のための特定健康診査及び特定保健指導の実施を義務づけるもので、昭和57年以来の改正となります。

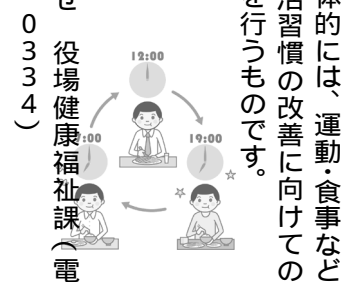
※75歳以上の人は後期高齢者広域連合が実施する健康診査を受診することになります。

健診内容
標準的な質問票・身長・体重・BMI・腹囲(新たに追加)・血圧・理学的所見(医師による診察)
血液・尿検査：脂質検査(悪玉コレステロール検査が新たに追加)、肝機能検査、糖代謝尿・腎機能
詳細な健診項目(医師の指示及び判断により行います)
貧血検査、心電図、眼底検査

特定保健指導
特定保健指導は、40歳から74歳の人を対象に、特定健診の結果からメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の判定、肥満度、喫煙歴などを考慮し、リスクに合わせて行います。
具体的には、運動・食事などの生活習慣の改善に向けての指導を行うものです。

健診に必要な物
受診券、保険証、受診券と保険証が無い場合、健診が受けられないことがあります)

問合せ 役場健康福祉課(電話 72 0334)



後期高齢者医療制度が始まります

平成20年4月から、老人医療制度が廃止され、新しく「後期高齢者医療制度」が始まります。制度開始までの流れを紹介します。

75歳以上の人は自動的に加入

75歳（一定の障害がある人は65歳）以上の人は自動的に国民健康保険（国保）や健康保険などの資格を失い、平成20年4月から後期高齢者医療制度に加入することになります。

なお、一定の障害がある65歳以上の人は、障害認定の取り消しを請求することができ、取り消しになると、国保などの被保険者のままとなり、後期高齢者医療制度移行しないこととなります。

保険証は1人に1枚交付

後期高齢者医療制度では、独自の保険証が1人に1枚交付されます。平成20年3月に加入者に発送する予定です。

全員が保険料を納めます

後期高齢者医療制度では、

被保険者全員が、個人単位で計算された保険料を町に納めます。原則として介護保険料と同じく、年金から天引きされます。また、国保などの被保険者でなくなるため、国税は納めません。

給付は老人保健と変わりません

後期高齢者医療制度の給付は老人保健制度と変わりません。医療機関にかかるときは保険証を必ず窓口に表示してください。保険証に明記されている自己負担割合どおり、医療費の1割または3割の窓口負担をお願いします。

一人ひとりの保険料額は

4月以降にお知らせ
後期高齢者医療制度開始により、平成20年4月分の年金から天引き（特別徴収）が始まります。該当者には、一人ひとりの保険料額を4月以降に

告知せしめます。年金の天引き対象にならない人（普通徴収）については、平成20年7月に保険料額をお知らせし、納付書または口座振替で支払っていただくこととなります。

制度の運営は広域連合と

市町村が協力して行います。鳥取県においてこの制度を運営していくため、県内19の全市町村が加入した「鳥取県後期高齢者医療広域連合」が設立されました。

後期高齢者医療制度は、広域連合が運営主体（保険者）となり、市町村は事務のうち、保険料の徴収、被保険者からの申請・届出の受付や保険証・各種証明書の引渡しなどの窓口業務を行います。

おことわり：この広報は、国が示した資料などに基づいています。今後内容が変更されることもありますのでご了承ください。

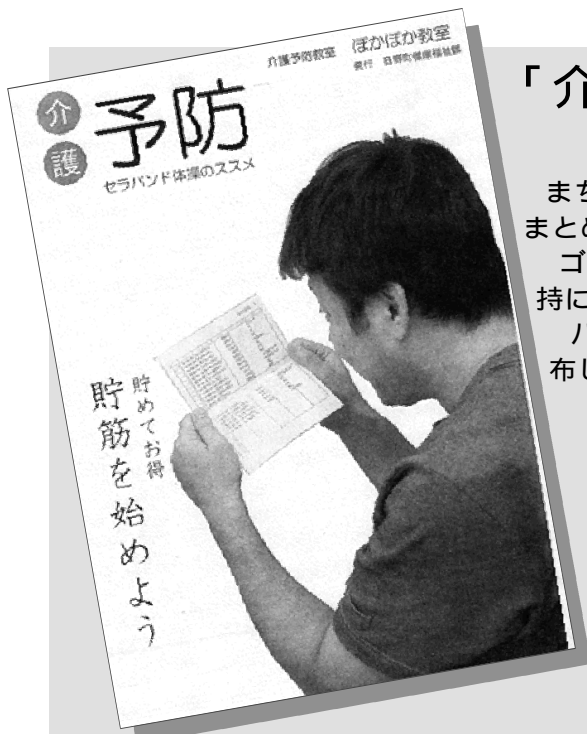
問合せ 役場健康福祉課
電話 72 0334
鳥取県後期高齢者医療広域連合（電話 0858 32 1097）

「介護予防パンフレット」できました ～ 役場・黒坂支所で無料配布中～

まちでは、いつまでも元気に暮らすため、介護予防のポイントをまとめたパンフレットをつくりました。

ゴムバンドを使った筋力アップのための体操を中心に、健康維持に役立つ一冊です。

パンフレットは、役場健康福祉課または役場黒坂支所で無料配布しています。ぜひお役立てください。



ゴムバンドを使った「セラバンド体操」を詳しく解説

問合せ 役場健康福祉課
（電話 72・0334）

まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。

☆役場総務企画課まで（電話72-0331）

防災力向上に貢献

黒坂地区自主防災委員会に総務大臣表彰

11月20日、地方自治法施行60周年記念式典が東京国際フォーラム（東京都）で行われ、その中で、黒坂地区自主防災委員会（福田和也会長）が地方自治功労団体として総務大臣表彰を受賞しました。

同委員会は平成14年に結成され、地域の防災力向上のために活動しています。

福田会長は、思いがけない立派な賞をいただき、一同感謝しています。これも住民の皆さんに防災について協力いただいたおかげです。鳥取県西部地震を教訓に、いっそう努力していきたい」と喜びを語りました。



結成時から会長をつとめる福田さん

秋晴れの下タスキをつなぐ

町駅伝競争大会



各クラス一斉にスタート

11月17日、第47回体力づくり町駅伝競争大会（町ほか主催）が、根雨小学校で開かれました。

根雨小学校から安原カヌーの里までの、10キロ・11キロ・14キロの3コースでタスキをつなぐこの大会には、小学生から一般まで22チームが参加し、秋晴れのさわやかな天候の中、チームが一つになってゴールを目指しました。

大会結果（優勝のみ紹介） 小学生の部＝根雨ジュニアソフトテニスクラブA 中学生の部＝チエリーパイ 高校生の部＝日野高校B 一般の部＝チーム走る仲間たち

地域の文化活動を発表・展示

町内各地で地区文化祭にぎやかに

【野田文化祭】

11月23日・24日の2日間、第4回野田文化祭が、野田みちくさの館を会場に開かれました。

みちくさの館の中では、2日間にわたって趣味の作品展が行われ、写真・手芸品など、地域住民による作品が勢ぞろいし、来館者の目を楽しませました。



パッチワーク、陶芸などの力作が並ぶ（野田）

また、24日には会場前の広場でバーガーが行われ、恒例の豚汁サーブスや、新そば、香茸ご飯の販売、フリーマーケットなどにぎわいました。

【舟場文化祭】

11月25日には、第24回舟場産業文化祭が舟場コミュニティセンターで開かれました。

もちつきや作品展、とれたて野菜の販売や、いか焼き、ぜんざい、手打ちそばコーナーなど盛りだくさんの内容で、地区外からの来客も多くあり、交流を深めていました。



手打ちそば、ぜんざいが大人気（舟場）

懐かしい顔に出会う

ひの郷会ふるさと交流会



懐かしい顔が並ぶ記念撮影

関西地区在住の日野町出身者の懇話会、「ひの郷会」の恒例のふるさと交流会が、11月10日・11日に行われました。

今回は会員ら32人が来町し、金持神社やオシドリ観察など、故郷の観光地を訪問。山村開発センターで開かれた意見交換では、景山町長はじめ町関係者らとの懇親会が行われました。会員らは、懐かしい故郷の料理を味わいながら、まちの現状などについて意見を交わっていました。

地域に人権の輪を

人権啓発講演会

一人一人の人権を大切に、誰もが生きいきと暮らせるまちづくりを進めるため、12月4日、人権啓発講演会及び第32回町人権・同和教育研究会（町ほか主催）が、町文化センターで開かれ、講演会とシンポジウムが行われました。

講演会では、講師に鳥取大学医学部教授の藤井輝明さんを迎え、「笑う顔には福来る」と題した講演が行われました。藤井さんは、顔に腫瘍があるために受けた差別体験などを話したほか、「人間には、その人にしかできない役割や価値、魅力がある。この世に不要なだめな人間はいない」ということを地域で話し合っている「ほしい」と訴え、集まった多くの参加者はうなずきながら聞いていました。



明るい中にも的確な語り口で体験を語る藤井さん

各事業所を訪問

第59回人権週間



チラシなどを手渡す山田さん（左）

身の回りの人権問題を考え、一人一人の人権意識を育てようと、12月4日から10日まで、第59回人権週間が行われました。

まちでは、この週間に合わせて、12月5日、人権擁護委員の山田厚弘さん（津地）が町内の事業所約30か所を訪問、啓発チラシや景品を手渡ししながら、みんなの人権が守られる明るいまちを目指しましょう」と訴えました。また、山村開発センターでは人権相談も行われました。

人権擁護委員は、毎月1回の人権相談や人権擁護の広報活動を行うため国から委嘱されるもので、町内では3人が委嘱されています。

絵本との出会いをお手伝い

たんぼぼの会袋づくり

町図書館では、赤ちゃんに絵本をプレゼントするブックスタート事業を行っています。

その際に絵本と一緒に手渡す袋をつくる作業が、12月5日、山村開発センターで行われました。

袋をつくるのは町内の女性グループ、たんぼぼの会（田口郁江代表）。生成りの布にフェルトでイラストを刺しゅうしたり、ポケットをつけたり、絵本などを入れる袋を手作業で仕上げていきました。

田口代表は、「今年から会員20人ではじめました。月に一回集まって手芸品を作っています。この袋でぜひ図書館に行つてほしい」と話しました。



「仲間と楽しく作っています。集まるのが楽しみ」と会員の声

鳥取県西部町村会 職員採用資格試験

職種 一般事務

勤務地 鳥取県西部町村会事務局(米子市糀町1-160、西部総合事務所内)

勤務条件 給料、手当、勤務時間などは町村職員に準じていますが、身分は団体職員となります。

受験資格 日野郡・西伯郡の在住者(出身者を含む)で、昭和53年4月2日から平成2年4月1日までに生まれた人
第一次試験 平成20年1月27日(日)

場所 西部総合事務所(米子市糀町1-160)

内容 教養試験、事務適性検査、職場適応性検査、作文試験

第一次試験合格発表 平成20年2月上旬に合格者に通知
第二次試験 平成20年2月下旬

申込受付 受験申込書に所要事項を記入し、平成20年1月11日(金)午後5時までに、

西部町村会事務局に提出してください。(申込用紙は役場及び町村会事務局にありません。)

問合せ 西部町村会事務局
(電話 0859 22 2049)

「ライフサポートセンター」とつとりを開設

(財)鳥取県労働者福祉協議会では、日常生活でのさまざまな悩みや問題の相談を受けける「ライフサポートセンター」とつとりを開設しました。

労働相談・多重債務・心の悩み・法律・福祉などあらゆる相談を無料で受け付けます。

相談方法 センターホームページ(http://blogs.yahoo.co.jp/tottori_rofuku)にアクセスして申込んでください。またはEメール(sougan5454@store.ocn.ne.jp)・FAX(0857 32 5454)まで

青年海外協力隊 鳥取県OV会帰国報告会

県内出身の青年海外協力隊経験者による帰国報告や各国の料理を食べながらの交流会を開きます。

日時 平成20年1月26日(土)午後1時~午後4時
場所 米子サテイト階フロア
内容 帰国報告「秋樹哉子さん(ニカラグア/大山町出身)、渡辺由美さん(スリランカ/境港市出身)、信本恵子さん(カンボジア/琴浦町出身)

食文化サロン「アジア、アフリカ、南米など各国の料理や、隊員OVのパフォーマンス、来場者との交流」

民芸品・パネル展示「各国の民芸品、現在活動中隊員の近況などを紹介」
入場無料

問合せ 鳥取県JICAデスク 渡辺まで(電話 0857 31 5951)

年末年始の各業務日程

役場・町図書館業務

役場一般業務 = 12月29日(土)~1月3日(木)まで休みます。
町図書館業務 = 12月28日(金)~1月3日(木)まで休みます。

可燃ごみの収集

12月29日(土)まで可燃ごみの収集をします。年末年始は12月30日(日)から1月3日(木)まで休みます。

問合せ 役場産業振興課 電話 72 2101)

クリーンセンターくぬぎの森へのごみの持ち込み

12月29日(土)午前11時まで

問合せ クリーンセンターくぬぎの森(電話 74 0333)

リサイクルプラザ(伯耆町)への年末の資源・不燃ごみなどの持ち込み

12月28日(金)午後4時まで
問合せ リサイクルプラザ(電話 0859 68 4071)

し尿汲み取り

12月29日(土)午後から、1月6日(日)まで休業します。早めにお申込みください。

問合せ いづはら日野営業所(電話 75 3701)

町営バス

1月1日(火)~1月3日(木)まで運休します。

日ノ丸バス(米子線)

1月1日(火)~3日(木)

日野病院行 = 米子駅発 11:55(12:54日野病院着) 15:00(15:59日野病院着)のみ運行。

米子駅行 = 日野病院発 10:10(11:12米子駅着) 14:00(15:01米子駅着) 16:50(17:51米子駅着)のみ運行します。

日野病院発 10:10(11:12米子駅着)の便は元旦は運休。

問合せ 日ノ丸自動車(株)米子支店(電話 0859 32 2121)

外来診療案内

午前（受付時間：午前7時30分～午前11時30分）

診察科目	月	火	水	木	金	第2土	第4土	備考
内科	一診	五代（循内）	五代	五代	井上			循内は隔週
	二診	檀田	檀田（大学）	熊野	檀田	五代		
	三診		井上		（脳内）		檀田	
	禁煙	檀田						
外科	（大学）	山根	大谷	山根	大谷		大谷または山根	
整形外科	青木	青木（大学）	（大学）	青木	青木			
眼科	玉井	玉井（大学）	玉井	（大学）				
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	
その他（大学）		泌尿器科		耳鼻科			ペースメーカー	ペースメーカーは偶数月のみ
						心臓・血管		
						皮膚科		

午後（受付時間：正午～午後4時）

診察科目	月	火	水	木	金	備考
内科		（大学）	（大学）			
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	水曜日は第2・4・5のみ
その他（大学）		心療内科		心臓血管	婦人科	心臓血管外来は第3木曜のみ 心療内科の受付は午後2時まで

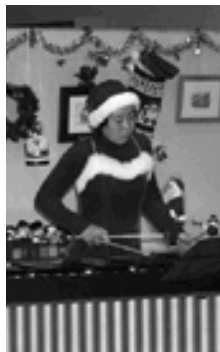
医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。

（12月1日現在）

お元気ですか
日野病院です



ミュージカル出演の子どもたち（左）と本郷さん（右）



▼クリスマスコンサート開催
12月8日、病院ロビーでクリスマスコンサートを開きました。
今回は、町民ミュージカル出演者の元気な歌と踊り、職員の手話による歌や、マリンバ演奏家の本郷良枝さんによる演奏を行いました。
本郷さんは、日本の童謡や一きよしこの夜、など数曲を披露、温かい音色に心癒されるひとときとなりました。

町子ども育成会議からの提案

11月21日、第5回会議を開き、「小・中一貫教育」をテーマに協議されました。

事務局から東京三鷹市の小・中一貫教育の取り組みについて説明した後、日野町での一貫教育についての可能性を議論しました。

委員からは、日野町で一貫教育を行う前提での議論かとの質問もありましたが、まちの子どもたちのため、学校教育現場の環境整備はどうあるべきかを考えるのが本会の目的だとの確認をしました。

また、平成21年度から小学5年生に英語の教科が導入されるなどの教育改革にあたり、学力向上および「郷土愛」や「勤労・規範を大切にす精神」を学ぶため小中学校の連携を深める一つの教育システムとしての小・中一貫教育の提案であり、実施するには準備・検討委員会を設立して十分な時間をかけて利点・欠点を検証する必要があるなどの議論が活発に交わされました。

町子ども育成会議では、今までの会議での意見をまとめ、町に提言していきます。

第12回町教育委員会開催

教育委員会からのお知らせ

12月7日、第12回の町教育委員会を開き、次の議案について審議・承認されました。

議案 平成19年度町一般会計補正予算書の提出について
12月の定例議会に提出する今年度予算の補正について審議しました。内容は、学校・公民館・文化センター等の警備・点検委託料の契約見直しによる減額、および事業実績による減額などです。

議案 平成20年度町一般会計当初予算書の提出について
平成20年度教育費予算の概要を説明、意見交換し、財政係に提出することとしました。

議案 町教育委員会事務局職員昇給について
平成20年1月1日に発令される職員昇給について承認されました。

日野町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

人が集い、心がかよい、記憶に残る4日間 第8回公民館まつり特集

11月22日～25日の4日間、第8回公民館まつりを開きました。

おしどり学園や、陶芸、料理などの体験教室、作品展や喫茶コーナーなどを催し、延べ500人近くの皆さんに来館いただきました。

22日（初日）

開会式

公民館まつりのオープニングを飾る開会式では、開会演技として黒坂小学校1・2年生による傘踊りが行われ、



かわいい傘踊りを披露

寒空の下、元気いっぱい踊る姿に大歓声が上がりました。

おしどり学園

今回は「鏡山城について」と題し、町歴史研修会会長の牧智也さん（黒坂）による講演を行いました。

牧さんははじめに、なぜ黒坂という地名になったのかを説明しました。「後さかるといふ里は、この路やいつれの道も、のほろ九路坂」櫓か峠・下榎道・根雨道・明賀谷道・花口道・小河内道・上菅道・助沢道・久住道の9つの道と坂から、九路坂が黒坂になったということです。

黒坂の最初の頃について



講師の牧智也さん

記してある書物で現在分かつているものは3冊あり、その中で黒坂城築城に至った経緯が書かれているそうです。

黒坂は、東南に日野川、北には大沢があり、四方を山に囲まれて防衛に優れた場所であったため築城が決定したとのことでした。

牧さんは「現在は史跡清掃ボランティアの活躍により、竹の伐採などが行われ当時の石垣や、今も湧き続ける井戸など全貌が明らかになってきている」と話しました。

学園生は、講堂に展示されている活動写真を見ながら、郷土の偉大な史跡の当時の様子を思い浮かべながら熱心に聞き入りました。

23日（2日目）

陶芸教室

町陶芸グループの指導で、陶芸教室を開きました。

陶芸に興味のある6人が参加し、それぞれがこの日のために考えたものを作りました。日常から解放され、ものづくりに取り組むことを体験した参加者は陶芸のとりこになっていた様子でした。

出来上がった作品は、お互いに鑑賞し合い、交流を深めました。



講師の塚本正夫さん（左）

そのほか、クリスマスツリーづくり教室、子どもお菓子づくり教室などを行いました。

24日 (3日目)

▼第9回町グラウンドゴルフ大会

町内のグラウンドゴルフ愛好者が集い、町グラウンドゴルフ大会が開かれました。大会には58人が参加。透き通るような秋晴れの中、12チームに分かれ優勝を目指しました。日ごろから練習に汗を流している参加者が多く、レベルの高い大会になりました。



慎重にねらいを定めて

▼竹のおもちやづくり教室

松本節哉さん(本郷)を講師に、竹とんぼづくりを行い、3人の子どもたちが参加、慣れない手つきで竹を削りました。小刀の刃先に集中し、時間をかけて納得いくものが作れたようです。出来上がると歓声を上げながら遊び、大切に持ち帰りました。



伝統の遊びを受け継ぐ

そのほか、日赤A-D体験を行いました。

25日 (最終日)

久住寿来の会餅つき実演

公民館駐車場では、久住寿来の会による餅つきが行われました。



つきたての餅も大好評でした

餅つきが行われ、4人が順番につくスタイルで、息の合った間合いで見事な餅つきができました。あがった餅はぜんざいにして来館者に販売しました。

お楽しみ抽選会

今年も盛大にお楽しみ抽選会を開催しました。

15団体から31本の景品を提供していただき、1時間にかたつて、手に汗握る抽選会になりました。

そのほか、七宝焼教室、木のおもちゃづくり教室などを行いました。



ロビーに多くの人が詰め掛ける

▼作品展示

4日間を通し、日ごろの活動の成果を発表しました。

【出展者】ひのっこ保育所・黒坂書道グループ・日赤奉仕団・町歴史研修会・黒坂保育所・カトレアグループ・町ボランティアセンター・町墨彩会・ひだまりグループ(リフォーム)・手芸グループ・山百合の会・町陶芸グループ・ひだまりグループ(七宝焼)・生花グループ・くりの会・アートフラワー同好会・セルフひの・松本節哉さん・生田洋子さん・松本よし子さん・中田初枝さん・若林双葉さん・高力千づるさん・大島善可さん

ありがとうございました



保育所園児も見学に

みんなの作品 展示しています

現在、1階ロビーで展示を行っています。どうぞご覧ください。

▼黒坂保育所(手作り鳴子)



色とりどりの手づくり鳴子

▼町歴史研修会・町ボランティアセンター
▼生田洋子個人展(ペーパー・ドール)
▼高力千づる個人展(カントリール)

町公民館の使用手続き

公民館を使用される方は、使用する3日前までに申請書を公民館へ提出してください。

使用できる日: 年末年始(12月29日から1月3日)を除く日

使用できる時間: 午前8時30分から午後10時まで
料金: 町使用料条例による額

ロビーは、午前8時30分から午後5時30分まで開放しています。図書室もありますので、お気軽にお立ち寄りください。

ごみ袋は設置していませんので、ご持参ください。

隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1
 電話：72-1191 (FAX兼)
 E-mail：rinpokan@town.hino.tottori.jp



隣保館活動の集大成 多くの人でにぎわう 第30回日野町解放文化祭

11月24日・25日の二日間、下榎隣保館・集会所、老人憩の家を会場に、解放文化祭を盛大に開きました。

両日とも晴天に恵まれ、老人憩の家で行われた開会式、オリーブ・ブリング・セレモニーの日野中学校吹奏楽部の演奏、自治会による餅つき大会も野外ででき、多くの皆さんに楽しんでいただきました。

午後には、「あかちゃんなんでも しつてい」を題し

て、助産師の山根美奈子さん（野田）による講演会を行い、参加者の中には、日南町から来町した熱心な人もいました。

二日目の催しの幕開けは、歌と踊りの演芸会。飛び入りもあり時間も超過するなど、笑い拍手に包まれとてもにぎやかなひとときとなりました。

続いて、そば打ち体験交流会として、山本晴正さん（野田）の指導によるそばうち体験に7人の男性が参加、今が旬の新そばで手打ちそばを打ちました。また、新そばの試食会では、準備したそば100食も1時間半ほどで完売するなど、大盛況でした。

昔のおもち作りでは、子どもたちが「ぶんぶんゴマ」や「竹でつぼう」をつくり、また木工教室の「すのこ作り」に主婦の皆さんが挑戦しました。

集会所では、女性部恒例のおこわ販売やフリーマーケット、子ども育成会によるコーヒートップが行われ、展示会場に訪れた人らでにぎわいました。

二日間にわたって展示会場



となつた隣保館・集会所でも、10月に行われた全国和牛能力共進会で見事優等賞4席に選ばれた「いちかつぶく号」の展示コーナーも設けられたのをはじめ、人権に関わる各団体、保育所園児からお年寄りまで幅広い皆さんから寄せられた作品の数々に、見学者からも「とてもよかった」の感想を多く聞くことができました。

人権センターとして初めての解放文化祭でしたが、多くの人のご協力で盛大に開催できましたことを関係者一同、心から感謝しています。

今後の隣保館活動についても、よろしくご協力お願いいたします。

参加者募集

ぼかばか教室 日時 11月11日(金) 午前10時 場所 下榎集会所 内容 調理実習

新春囲碁将棋大会 日時 11月13日(日) 午前9時 場所 老人憩の家

申込みは下榎隣保館まで

第32回日野町人権・同和教育研究会
 12月4日、町文化センターで研究会が開かれました。

鳥取大学医学部教授の藤井輝明さんによる講演会の後、「あたたかい日野町、人権の種をまこう、育てよう」をテーマにシンポジウムが行われ、人権に関わる各団体の代表者の活動報告やそれぞれの思いなどが熱く語られました。

1月の学習講座予定

12日(土)	おみせ編み物 講師 安達利子さん	午後7時～
15日(火)	老人憩の家 講師 生田清子さん	午後7時30分～
16日(水)	下榎集会所 講師 柴田三千明さん	午後1時30分～

日程など変更になることがあります。詳しくは下榎隣保館まで いずれの講座も2時間の予定です



筒井さんの著書「日本の昔話」

1/27日

子どもと昔話

～聞きたのしみ・語るたのしみ～

子どもの本の講座・子どもの読書推進事業

時間 午前10時30分～午後3時30分
場所 山村開発センター
講師 筒井悦子さん
 (岡山ストーリーテリング研究会代表、岡山県子ども文庫連絡会会員)
内容 講義と語り
定員 80人(参加無料)
申込み 1月25日(金)までに、町図書館(電話72 1300)へお申込みください。
 託児申込みは1月18日(金)まで

主催 県立図書館
共催 町図書館

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinososyo@book.town.hino.tottori.jp

月～金 午前9時30分～午後6時
 土・日 午前9時～午後5時

カレンダー

○印が休館日です

1月

日	月	火	水	木	金	土
			①	②	③	4
6	7	⑧	9	10	11	12
13	⑭	⑮	16	17	18	19
20	21	⑳	23	24	25	26
27	28	㉑	30	㉒		

図書館の展示コーナー

県展入選作品展

1月4日(金)～30日(水)
 写真の部【生田英明さん・岡本勝美さん・大谷真二さん・牧田教介さん・松本利秋さん】

図書館おはなし会

1月19日(土) 10:00～
 場所: 図書館絵本コーナー
 お正月の絵本、わらべうた、お手玉など(参加無料)

木のおもちゃづくり

1月20日(日) 9:30～
 場所: 図書館車庫
 干支の組み木など(要材料費)

サイエンスアカデミー講座

1月26日(土) 10:30～
 場所: 図書館郷土資料コーナー

2/3(日)

新春サロンコンサート 箏とフルートの調べ

13:30 開演(13:00 開場)
場所 町文化センター/ホール森の音楽隊
出演 箏: 箏アンサンブル桐糸音
 フルート: 福留みどり
曲目 「春の海」「花」「ウインターソング」など
入場料 500円(1ドリンク付)町図書館で取り扱っています
主催 ホールと共に歩む会



町歴史研修会連携講座 生田長江入門セミナー part 5 ～ 生田長江の残したモノ「明治・大正期、長江の占めた場所」～

日時 1月19日(土) 13:30～
場所 延暦寺(根雨) 参加無料
講師 竹内道夫さん(郷土文芸家)
主催 白つつじの会～生田長江顕彰会～
問合せ 町図書館(電話 72 1300)

おひさまひろば

だより



ひのっこ保育所子育て支援室「おひさまひろば」では、保育所に入所していない子どもたちを迎え、毎週水曜日の午前9時～午前11時まで、ボランティアの方の協力もあり、親子で楽しく遊んでいます。

おひさまひろばの時間設定は次のとおりです。

時間	内容
9:00～11:00	受付(随時受付けています)
9:00～	絵本読み、室内おもちゃ遊び(積木、ブロックなど)ふれあい遊び(わらべうたなど)
9:30～	一斉活動
10:00～	外遊び(雨天時:室内遊び)
10:40～	片付け・ティータイム(各自持参)
10:50～	支援室掃除、次回日程打ち合わせ
11:00～	あいさつ(終了)

日増しに寒さが身にしみる頃となりました。雪が舞い散る日も近いでしょう

11月は、朝が寒くなったために参加される人数は少なかったですが、外で砂遊びをしたり、室内で好きなおもちゃで遊んだり、ゆったりと過ごしました。

1月は、室内でままごと、粘土遊びをしましょう。公民館で行う日もあります。ぜひお出かけください。

連絡先 ひのっこ保育所 担当 音田
(電話 72 - 0238)

1月の予定

- 1月9日(水): 折り紙遊び
- 1月16日(水): お絵かき(町公民館で開きます)
- 1月23日(水): 図書館からのおはなし会
ままごと遊び
- 1月30日(水): 粘土遊び
保健師による育児相談

こころの散歩道
日野町俳句同好会 選

茶の咲けり心たひらな日々にして(講師)谷 悦子
風荒び月に浮びしすゝき原 安達つるゑ
尼子墓落葉踏み分け訪ねけり 荒木 習子
花も無く穂芒のみが我がものと 梅林 春子
十三夜遠く住む子や孫のこと 勝瀬 京子
秋日和家並包み人包み 川上 文子
秋冷や客なきバスの出発す 久城 霞溪
爽やかや乗合馬車の鈴の音 徳本千鶴子
芋水車岸を飛沫に濡らしつゝ 眞壁富貴枝

(五十音順)

産業別最低賃金が改正

12月20日から「鳥取県電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイス製造業最低賃金」が1時間723円に改正されました。

12月20日以降の県の最低賃金は次のとおりです。
鳥取県最低賃金

1時間 621円 発効年月日:平成19年10月21日

産業別最低賃金

最低賃金の名称	最低賃金額	発効年月日
鳥取県電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイス製造業最低賃金	1時間 723円	平成19年12月20日
鳥取県各種商品小売業最低賃金	1時間 685円	平成18年12月20日

詳しくは、鳥取労働局賃金室(電話0857-29-1705)または最寄りの労働基準監督署にお尋ねください。
米子労働基準監督署(電話0859-34-2231)

編集後記

皆さんにとって2007年はどんな年だったでしょうか。今年ほとんど雪の降らない暖冬でした。大雪は勘弁ですが、私としてはこの冬は多少降ってもらわないと困ります。なにせ、冬タイヤを新調したばかりなもので、少しは雪がないと損した気分になりませんか?(笑)(i)

荒木 12月届出分 74歳 黒坂
瀨田 昌司 66歳 本郷
升井 辰子 93歳 黒坂
長尾 静子 87歳 門谷
山縣千代子 92歳 久住
松浦美代子 82歳 根雨
西村 益寿 58歳 下榎
遠藤 良子 98歳 榎市
西村 敦枝 80歳 福長

おくやみ
ご冥福をお祈りします
(氏名) (年齢) (住所)

山本 萌衣 貴夫・香織 女の子 野田
(出生児) (保護者)(性別)(住所)
11月届出分

赤ちゃん誕生
おめでとございませす
届出 11月11日、12月10日 敬称略

11月30日現在

わたしの町

(前月比)
人口 4,111人(-25)
男性 1,920人(-9)
女性 2,191人(-16)
世帯 1,552戸(-3)

1月

くらしのカレンダー

JANUARY (睦月)



1 火	元旦 (役場業務、ごみの収集は休みます)	18 金	
2 水	役場業務、ごみの収集は休みます	19 土	
3 木	役場業務、ごみの収集は休みます	20 日	
4 金	金曜日収集の地区の可燃ごみを収集します	21 月	
5 土	木曜日収集の地区の可燃ごみを収集します	22 火	3歳児健診 開発センター 受付：午後1時15分～午後1時30分
6 日		23 水	古紙の収集日 (全町)
7 月	健康相談 町公民館 午前9時～午前10時 ----- 人権相談 開発センター 午後1時～午後3時	24 木	
8 火	乳児健診・BCG予防接種 開発センター 受付：午後1時15分～午後1時30分	25 金	
9 水	不燃ごみの収集日 (全町)	26 土	
10 木		27 日	
11 金		28 月	
12 土	隣保館編み物講座 老人憩の家 午後7時～	29 火	
13 日		30 水	ペットボトルの収集日 (全町)
14 月	成人の日 (可燃ごみの収集は休みます) 15日に月曜日収集の地区も収集します	31 木	町県民税4期分、国民健康保険税7期分、 介護保険料7期分納期限
15 火	1歳6か月児・2歳児健診 開発センター 受付：午後1時15分～午後1時30分 ----- 隣保館生け花講座 下榎集会所 午後7時30分～ ----- 全町の可燃ごみを収集します	ミニギャラリー情報 (町内の展示コーナーを紹介します) 山陰合同銀行根雨支店 「森田直さん書道作品展」 1月4日～2月8日まで 鳥取県日野総合事務所 「接遇覆面調査結果パネル展」 1月上旬～下旬 蔵美術館 「岡野三郎さん【冬の大山】」～12月26日～4月25日まで 県西部地震展示交流センター 「能登半島地震とボランティア活動展」～1月31日まで	
16 水	行政相談 開発センター 午前9時～正午 ----- 隣保館木工講座 下榎隣保館 午後1時30分～ ----- 資源ごみの収集日 (全町)		
17 木			

直通電話	総務企画課	72 0331	住民課	72 0333	出納室	72 2105	健康福祉課	72 0334
	産業振興課	72 2101	黒坂支所	74 0211	公民館	74 0212	議会事務局	72 0335
	農業委員会	72 2103	教育委員会	72 2107	文化センター	72 1300	給食センター	72 1167
	地域包括支援センター	72 1852	ひのっこ保育所	72 0238	黒坂保育所	74 0225	下榎集会所	72 1191
	役場代表番号 (夜間・休日)	72 0331						

町長の定期便

第 21 回

心がよつ温かいまちを

平成19年もいよいよ師走となりました。皆さんにとつてこの一年はどんな年でしたか。良い年であつたならば良かったなと思います。

しかし、国内ではいろいろな事件のあつた年でもありました。特に親族を巻き込んだ悲惨なものもあり、心が痛みました。

私は、その根底には経済至上主義があるのではないのかなと思つています。ここらあたりで命を大切にす自治へ転換してみたらどうでしょうか。先日開かれた町人権・同和教育研究会の中で、子ども・高齢者・障害がある人・部落差別についての現状などが語られていました。その中で、子どもたちが置かれている環境が悪化していることに大人たちが案外気付いていないというご意見がありました。私も全く同感です。便利さを求めるだけで周りの人への配慮を失い、索漠とした世界にしていると思われま。具体的には自己中心的で無責任なインターネット掲示板への書き込みなどです。町民一人一人がよく考え行動し、研究主題である「あたたかい日野町」を目指したいものです。

先日、岡山在住の日野町出身の人から山陽新聞の投稿を送つていただいたものを紹介します。「オシドリを見よう」と根雨に來ました。あいにくオシドリはいませんでした。まぢの人はとても親切でした。大人も子どもも『こんにちわ』とあいさつしてくれ、オシドリには会えませんでした。日野町の人々の温かさを胸に帰途につきました。『ほのぼのとした気持ち』を味わうことができました。これこそが我がまちが目指すものだと思います。

日野町長 景山 享弘
(12月6日記)

町食生活改善推進協議会さん料理 46 オススメ料理

白菜のおいしい季節
しょうが入りで体もポカポカ



白菜と帆立のスープ

- 【材料】4人分
- 白菜(400g) ●しめじ(100g) ●ほたて水煮缶(140g)
 - サラダ油(大さじ2)
 - A【水(400ml)、だしの素(小さじ2)】
 - B【薄口しょうゆ(小さじ2)、塩(小さじ1/2)、酒(大さじ2)、しょうが汁(大さじ2)】
 - うま味調味料(少々) ●水溶き片栗粉【片栗粉(大さじ2)、水(大さじ2)】 ●あさつき(小口切り12本分)

- 【作り方】
- ①白菜は葉と軸に分け、軸は一口大のそぎ切り、葉はザク切りにする。
 - ②鍋にサラダ油を熱し、白菜の軸、葉、しめじの順に炒めAを加える。
 - ③②が煮えたら、ほぐしたほたて貝柱を缶汁ごと加え、Bとうま味調味料で味をととのえ、水溶き片栗粉でとろみをつける。
 - ④器に盛り、あさつきを散らす。



『腹ずもう大会のはじまり、はじまり』
撮影 長尾真彦さん(岡山市)

ふるなつと

幼少のころ根雨で過ごされた神戸在住の藤原様のお便りを紹介します。

11月25日は、甥・姪一行10人で根雨宿二番館で食事をした後、オシドリ観察に参りました。皆それぞれに感嘆し募金していたようです。

「オシドリの寄り添う水輪かがやきてこの故郷に心温む、私の心そのものです。ご自愛專一のほどお祈りいたします。(11月25日は私の81歳の誕生日でした)」

藤原様、どうぞお元気でまたのご帰郷を。オシドリとお待ちしています。

【連絡先】オシドリグループ事務局
森田(電話)72 0271

オシドリ

Vol. 118

